

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 昭和真空
 コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 小俣 邦正
 (氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0385

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,132	△36.0	△86	—	△71	—	△97	—
25年3月期第1四半期	1,770	40.4	△30	—	△41	—	△44	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △54百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △25百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△15.80	—
25年3月期第1四半期	△7.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	9,688	5,418	55.9	879.77
25年3月期	9,921	5,534	55.8	898.61

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 5,418百万円 25年3月期 5,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,626	△0.5	37	△3.9	34	33.1	25	△15.0	4.15
通期	8,236	9.5	155	—	205	328.8	191	176.8	31.06

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	6,499,000 株	25年3月期	6,499,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	340,242 株	25年3月期	340,242 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	6,158,758 株	25年3月期1Q	6,158,758 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する訂正情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、回復傾向にありましたが、総じて弱含みで進みました。米国では雇用情勢が改善傾向となり、個人消費など堅調に推移しました。欧州では、景気下げ止まりの兆しも見られるものの弱い動きとなりました。アジア経済は、景気拡大が続きましたがそのテンポは緩やかでした。わが国経済は、震災からの復旧・復興に向けた動きが引き続き景気下支えに作用するとともに、政策効果や個人消費の持ち直しなどにより、緩やかながら着実に回復が進みました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、スマートフォンやタブレットPCの拡大が、当社グループの主要な取引先である電子デバイス業界を引き続き下支えしているものの、高級機市場の成熟により一部減速感が見られました。また、従来のPC、テレビ、デジタルカメラ等は依然として厳しい状況が続いており、ユーザーの設備投資に対する姿勢は慎重なまま推移しました。

こうした環境の中、当社グループでは、主にスマートフォン用の電子デバイス市場に向け、地域としては中国、台湾を中心としたアジア地域への拡販に努めました。前年同四半期に比べ、光学装置の受注が増加しましたが、水晶、電子向けの装置受注は減少するなど厳しい状況が続きました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、受注高16億45百万円（前年同四半期比47.5%増）、売上高11億32百万円（同36.0%減）となりました。

損益につきましては、経常損失71百万円（前年同四半期比は41百万円の経常損失）、四半期純損失97百万円（前年同四半期は44百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の業績につきましては、設備投資の回復が遅れており受注は厳しい状況となりました。受注高は13億8百万円（前年同四半期比54.2%増）、売上高は8億95百万円（同40.4%減）、セグメント利益は48百万円（同55.1%減）となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、最新装置の拡販を中心に推進してまいりましたが、設備投資に対する動きは鈍く、受注、売上ともに厳しい状況となりました。

水晶デバイス装置の受注高は2億23百万円（前年同四半期比54.9%減）、売上高は2億80百万円（同53.6%減）となりました。

(光学装置)

光学業界では、中国、台湾を中心としたアジア市場に営業活動を推進してまいりました。

光学装置の受注高は9億4百万円（前年同四半期比737.9%増）、売上高は2億67百万円（同66.9%減）となりました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、増産設備投資に対する動きは依然として慎重であり、売上、受注ともに厳しい状況となりました。

電子部品装置・その他装置の受注高は1億79百万円（前年同四半期比26.4%減）、売上高は3億46百万円（同302.5%増）となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに対する定期訪問、定期連絡による、装置の改良提案、生産終了品目の案内と新機種への取替え提案などに取り組んできた効果が徐々に発揮されてまいりました。

サービス事業の売上高は2億37百万円（前年同四半期比11.5%減）、セグメント利益は16百万円（同56.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は65億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億24百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金が5億28百万円減少したものの、仕掛品が2億84百万円、現金及び預金が49百万円増加したことによるものです。固定資産は、31億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円減少しました。これは主に有形固定資産及無形固定資産が減価償却等により12百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は96億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億33百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は26億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億24百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が88百万円、賞与引当金が83百万円減少したことによるものです。固定負債は15億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円増加しました。これは主に長期繰延税金負債が3百万円、長期リース債務が2百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は42億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億17百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は54億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億16百万円減少しました。これは主に剰余金の配当が61百万円あり、さらに包括利益が54百万円の損失となったことによるものであります。

負債も減少した結果、自己資本比率は55.9%（前連結会計年度末は55.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成25年5月10日付「平成25年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想に変更ありません。

なお、当社グループを取り巻く市場動向を踏まえ、今後の業績推移につきましてはより慎重に注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	967,472	1,017,046
受取手形及び売掛金	3,736,332	3,208,151
商品及び製品	6,662	8,034
仕掛品	1,474,495	1,759,140
原材料及び貯蔵品	322,200	302,399
繰延税金資産	115,566	95,673
その他	157,062	164,893
流動資産合計	6,779,791	6,555,338
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	794,483	792,141
機械装置及び運搬具（純額）	48,258	53,426
土地	2,162,527	2,162,527
その他（純額）	32,775	19,906
有形固定資産合計	3,038,045	3,028,001
無形固定資産		
その他	38,103	35,743
無形固定資産合計	38,103	35,743
投資その他の資産		
投資有価証券	59,647	62,438
その他	85,880	86,442
貸倒引当金	△79,731	△79,731
投資その他の資産合計	65,797	69,150
固定資産合計	3,141,946	3,132,895
資産合計	9,921,738	9,688,234

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,970,208	1,881,876
短期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	23,685	4,792
賞与引当金	139,852	56,030
役員賞与引当金	13,000	—
製品保証引当金	47,000	52,000
工事損失引当金	11,700	21,800
その他	389,708	453,907
流動負債合計	2,795,155	2,670,406
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	200,000	200,000
退職給付引当金	500,643	502,286
繰延税金負債	5,662	9,058
その他	85,971	88,187
固定負債合計	1,592,278	1,599,532
負債合計	4,387,433	4,269,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,753,975	2,753,975
利益剰余金	888,129	729,219
自己株式	△278,091	△278,091
株主資本合計	5,541,118	5,382,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,960	10,360
為替換算調整勘定	△15,774	25,725
その他の包括利益累計額合計	△6,813	36,086
純資産合計	5,534,304	5,418,294
負債純資産合計	9,921,738	9,688,234

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,770,006	1,132,566
売上原価	1,491,792	914,922
売上総利益	278,214	217,644
販売費及び一般管理費	309,198	304,234
営業損失(△)	△30,983	△86,590
営業外収益		
受取利息	520	94
受取配当金	191	186
受取賃貸料	3,355	3,030
為替差益	—	20,759
その他	1,556	681
営業外収益合計	5,624	24,752
営業外費用		
支払利息	2,768	2,894
売上割引	230	2,677
為替差損	11,975	—
賃貸物件関係費	763	2,681
その他	823	1,235
営業外費用合計	16,560	9,488
経常損失(△)	△41,920	△71,326
特別損失		
固定資産除却損	56	—
特別損失合計	56	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△41,977	△71,326
法人税、住民税及び事業税	3,934	3,826
法人税等調整額	△1,525	22,169
法人税等合計	2,408	25,995
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△44,386	△97,322
四半期純損失(△)	△44,386	△97,322

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△44,386	△97,322
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,431	1,399
為替換算調整勘定	22,957	41,500
その他の包括利益合計	18,525	42,900
四半期包括利益	△25,860	△54,421
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25,860	△54,421

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,502,209	267,796	1,770,006
セグメント間の内部売上高 又は振替高	211,180	2,366	213,546
計	1,713,389	270,163	1,983,553
セグメント利益	108,920	37,702	146,622

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	146,622
セグメント間取引消去	△2,741
全社費用(注)	△174,865
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△30,983

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	895,439	237,127	1,132,566
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,049	3,986	5,035
計	896,489	241,113	1,137,602
セグメント利益	48,923	16,440	65,364

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	65,364
セグメント間取引消去	13,887
全社費用(注)	△165,842
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△86,590

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日) (千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	280,950	46.4
光学装置	267,819	33.1
電子部品装置	346,670	402.5
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	895,439	59.6
サービス事業		
部品販売	191,309	89.2
修理・その他	45,698	87.5
サービス事業計	237,007	88.8
合計	1,132,447	64.0

(注) 1. 上記の金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)			
	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (%)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	223,837	45.1	300,887	25.9
光学装置	904,921	837.9	993,452	109.0
電子部品装置	179,662	96.0	301,610	131.7
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	1,308,420	154.2	1,595,949	67.7
サービス事業				
部品販売	191,708	88.9	280	—
修理・その他	145,734	279.0	100,035	—
サービス事業計	337,442	126.0	100,315	—
合計	1,645,863	147.5	1,696,264	71.9

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日) (千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	280,950	46.4
光学装置	267,819	33.1
電子部品装置	346,670	402.5
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	895,439	59.6
サービス事業		
部品販売	191,428	88.8
修理・その他	45,698	87.5
サービス事業計	237,127	88.5
合計	1,132,566	64.0

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。